

平成 29 年春期 データベーススペシャリスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2017,6,21

4 月 16 日 (日) に行われた平成 29 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、データベーススペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■データベーススペシャリスト試験 (DB)

[平成 29 年春期のデータベーススペシャリスト試験 統計情報]

応募者	17,706 人
受験者	11,775 人
合格者	1,709 人
合格率	14.5%

平成 29 年春期のデータベーススペシャリスト試験は、前回よりも 26% も応募者が増えましたが、合格率は 14.5% で、前回の 17.5% から 3% と大きく下がりました。

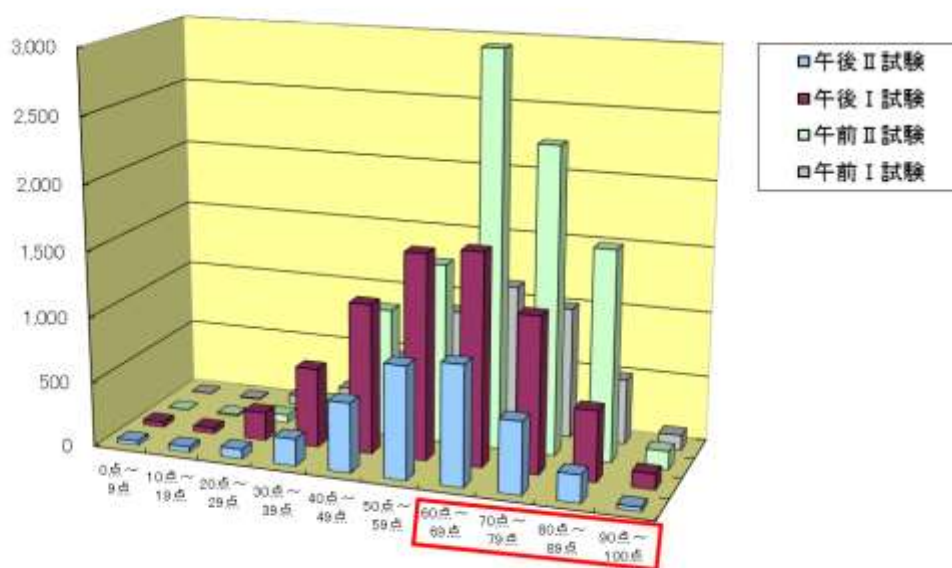
次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成 29 年春期 データベーススペシャリスト試験 スコア分布]

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	2	2	41	33	
10 点 ~ 19 点	6	12	44	40	
20 点 ~ 29 点	72	59	217	74	
30 点 ~ 39 点	181	214	607	207	
40 点 ~ 49 点	479	985	1,147	532	
50 点 ~ 59 点	894	1,376	1,567	858	
60 点 ~ 69 点	1,135	3,182	1,617	915	
70 点 ~ 79 点	1,006	2,330	1,191	550	
80 点 ~ 89 点	500	1,605	538	212	
90 点 ~ 100 点	117	140	120	32	
計	4,392	9,905	7,089	3,453	1,709
対前試験比率		225.5%	71.6%	48.7%	49.5%
午前 I 免除者 (概数)	7,383	62.7%			

合格者数	1,709	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	2,758	62.8%	1,049
午前 II 60 点以上合計	7,257	73.3%	5,548
午後 I 60 点以上合計	3,466	48.9%	1,757
午後 II 60 点以上合計	1,709	49.5%	0

平成29年春データベーススペシャリスト試験 得点分布



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 7,383 人 (62.7%) おり、受験者の 6 割以上の方が午前 II からの受験となっています。

得点分布を分析してみると、高度系共通の午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 2,758 人 (受験者の 62.8%) でした。また、午前 II 試験で基準点以上の人は 7,257 人 (受験者の 73.3%) でしたが、前回の試験で 60 点以上の人は 81.3% いたので、今回は午前 II 試験を通過した人が少なかったことが分かります。他の高度試験でも同じですが、午前 II 試験で出題される知識は午後の試験問題を解くための必須知識ですので、確実に学習することが重要です。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 48.9% で、前回の 51.5% より下がっています。午前 II の専門知識の理解度が例年より低かったことが午後 I 得点に影響していると考えられます。

午後 II で基準点 (60 点) 以上取れた人は 49.5% で、前回の 48.7% から微増です。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、専門知識分野で「午前試験で出題される知識の理解度をまず上げる」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」のがよいでしょう。

高度系試験は午後試験対策が合格の鍵を握っています。受験される方は、次回試験に向けて早めに対策を始めてください。

■平成 29 年春期 データベーススペシャリスト試験の出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

- 高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。今回の問題内容は、計算問題が 2 問 (前回 5 問) と減りましたが、基礎理論の考察問題が例年どおり少し難しいことから、全体に少し難しく感じた受験者が多かったと思われます。

- 過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率です。
- 分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視

した出題になっており、出題数は前回と同じ4問でした。

・新傾向問題は次の4問で、前回より増えています。システム開発分野の問題で、アジャイル関連の内容は、そろそろ定番化してきているといえます。

(新傾向問題)

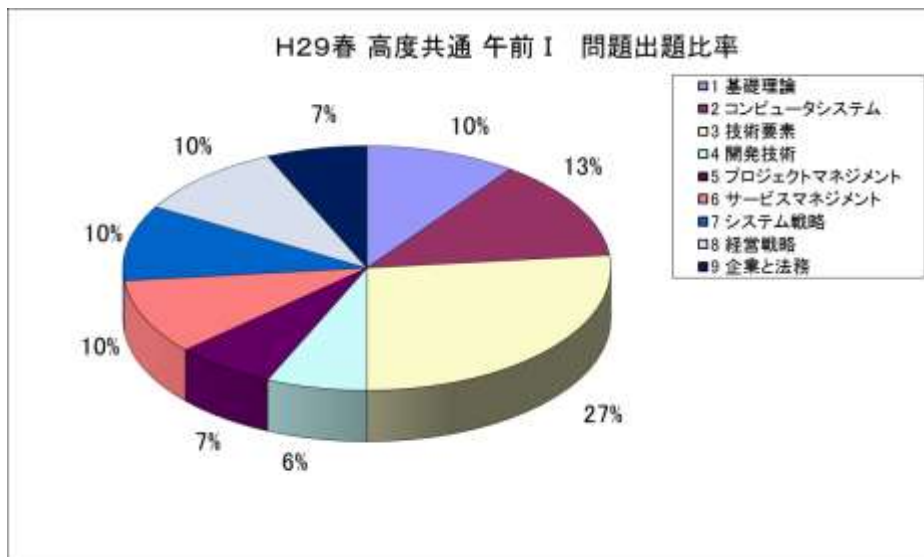
問 11 OpenFlow を使った SDN の説明

問 14 サイバーセキュリティ経営ガイドラインの説明

問 17 アジャイル開発で“イテレーション”を行う目的

問 26 浸透価格戦略の説明

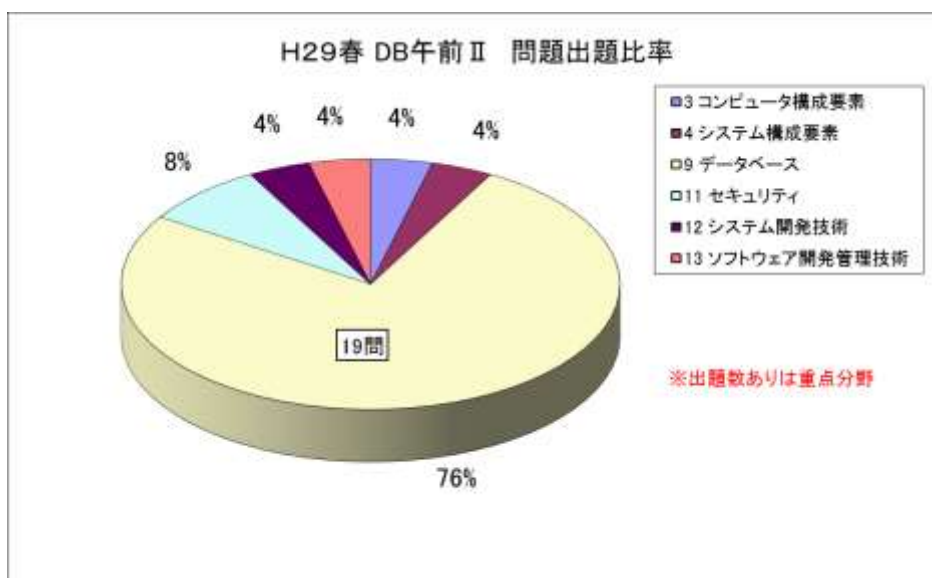
平成 29 年春期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験は繰返し出題される定番問題が多く、データベースの専門知識の出題数は 19 問でした (前回と同じ)。過去問題は 6 割弱ありました。

平成 29 年春期のデータベーススペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



新傾向問題は次の2問で、前回より1問減っています。また、SQL関連、トランザクション処理関連の問題がやや難しい内容だったので、全体として少し難しく感じたと思われます。

問8 人数を求めるSQL文

問9 論理式の評価結果

次に、午後Iと午後II試験の分析結果をお知らせします。

(午後試験)

- ・午後I問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。1問あたりの問題文、設問数は前回とほぼ同じでやや多く、受験者負担は相変わらず大きいといえます。出題内容は、問1のデータベースの設計の問題がやや難でした。

問1 データベースの設計 (ソフトウェア開発会社)

候補キー、部分・推移的関数従属性の有無と具体例、正規形名と第3正規形への分解、関係スキーマ、属性名、リレーションシップ、関係名と追加する属性名、不具合の状況・修正

問2 トランザクションの排他制御 (オフィスじゅう器メーカー)

SQL文の空欄穴埋め、REPEATABLE READ時のデッドロック (初出題)、数量が不正になるAPの実行状況、不正な状態、並列実行、ボトルネック

問3 テーブル及びSQLの設計 (家電販売チェーン店)

分析処理の応答時間評価、動的SQLの穴埋め、動的SQLで実行する理由、NOT NULL制約定義の理由、一意性制約に定義すべき列名、検査制約、INSERT文の穴埋め

- ・午後II問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問1のレプリケーションの設問がやや難でした。問2は問題分量が多かったといえ、時間内で解答しきるのは難しい内容といえます。

問1 データベースの設計、実装 (全国展開する家電・日用雑貨の小売業)

テーブルの配置、同期、ロールバックされる処理、レプリケーション機能、テーブルに追加する列名・内容、検査制約、SQL穴埋め、トリガの定義内容、テーブル穴埋め、問合せ内容

問2 販売物流業務の概念 (自動車用ケミカル製品メーカー)

リレーションシップ、概念データモデルの完成、関係スキーマの属性名、外部キー、エンティティタイプと属性の対応表完成、統合前・後のエンティティタイプの対応表の完成

(今回合格された人)

今回見事合格された方で、17 秋期試験で情報処理安全確保支援士・ネットワークスペシャリスト・IT ストラテジスト・システムアーキテクト・IT サービスマネージャの試験合格を目指す方は、午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは各試験の専門分野の基本的な問題（応用情報技術者試験の問題）から解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB 教材」「WEB テスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『スタンダードコース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

(今回残念ながら不合格だった人)

まず、午前Ⅰの試験で 50 点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が重要です。時間のない方は、「応用情報・高度共通 午前試験対策」の書籍を活用し出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。

今回の午前Ⅰ・Ⅱ試験の得点が 50 点～59 点だった方は、合格ラインまで“あと一歩”のところまで実力がついていきますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

午後試験の得点が 60 点未満だった方は、まず午前Ⅱの「専門知識」の内容に関して、試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受験するなど、本番を想定した学習を行うが効果的です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『プラクティスコース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

<http://www.itec.co.jp>